

令和5年度第1回宇治市行政改革審議会における主な意見要旨

宇治市第8次行政改革実施計画の取組状況（案）について

1-1-② SNS等を活用した便利でわかりやすい情報発信

○ SNSを活用した便利でわかりやすい情報発信について、宇治市公式 LINE を活用した更なる取組を進めてもらいたいと思います。

○ 消防団のInstagramなどは支援対象になりますか。また、SNSの活用について宇治市の指針等がありますか。

→ 広報戦略について、プロデューサーを設置しており、職員研修等を実施しているところです。消防団にもフィードバックができないか、市内部で調整します。

1-2-② 事務の効率化における AI・RPAの導入や各種情報システムの標準化

1-2-③ 各分野でのデジタル化の推進による生産性、効率性の向上

○ ChatGPTの導入検討について教えてください。

→ 国からもプライバシー、著作権等の課題があるため、適切な措置を講じるよう通達されており、ChatGPTも含めた生成AIについて、国等の動向も留意しつつ、デジタル技術を活用した効率化の一手段として検討していくべきと考えます。

1-3-③ マイナンバーカードの利便性の啓発、発行窓口の工夫による普及促進

○ マイナンバーカード交付率100%を設定した理由とその取組手法について教えてください。

→ 元々、国が令和4年度中に100%を目指していた経過があり、本市では3か年で100%となるよう第8次行政改革に位置付けたところです。デジタルの基盤となる部分であり、マイナンバーカードの重要性、利便性を啓発しながら取組を推進したいと考えます。

2-2-① 各種公金における収納方法の充実

○ キャッシュレス決済の利用割合について教えてください。

→ 従来方式での割合が大半となっており、利便性の向上を含めて、周知等を進めたいと考えます。

2-3-① 柔軟かつ機動的な組織体制の確立と職員定数の適正化

○ 人員削減の考え方を教えてください。

→ 施策の効率的な運営・見直し、民間委託等を推進する中で、職員定数の適正化を推進したいと考えます。

○ 削減を進める中でも専門人材を確保する視点も必要と考える。

→ 必要な専門人材を確保しつつ、業務の効率化を進め、職員定数の適正化を推進します。

2-2-⑥ 若者の定住促進や産業立地など施策の推進による税源の涵養

○ 子育てにやさしいまち実現プロジェクトにおける若者のメリットを教えてください。

→ 本市は、20代・30代の転出が多い状況にあり、若い世代の雇用の場の創出をはじめ、子育て世代が住みやすい環境整備に取り組んでおり、若い世代に宇治に愛着をもって住んでもらえるよう取組を進めていきたいと考えます。

2-2-④公平性の観点による受益者負担の適正化

○課題や取組の進め方について教えてください。

→ 将来にわたって必要な公共施設を維持していくため、歳入確保の視点をはじめ、利用実態、課題を踏まえて検討を進めます。

3-2-②公共施設の整備における民間活力の導入

○令和5年度に優先的検討規定の更なる検討とあるが、その方策について教えてください。

→ 令和4年度に策定した公共施設の将来像などの考え方を踏まえつつ、民活の導入を推進するため、他市の策定状況も参考としながら、庁内調整を行います。

3-3-②多世代が集い、交流が生まれる、地域活性化の拠点となる公共施設の検討

○市民意見では、どのようなものがありましたか。

→ 紙媒体やWEBで意見聴取を行う中で、候補地、施設の複合化、機能等について意見をいただいたところです。

その他、計画全般について

○実施工程で「検討・実施」となっており、達成できた項目は、次の取組の方向性をもう少し具体的な記載をお願いしたいです。

→ 次回以降、お示しできる範囲で工夫し、記載します。